

まつお新聞

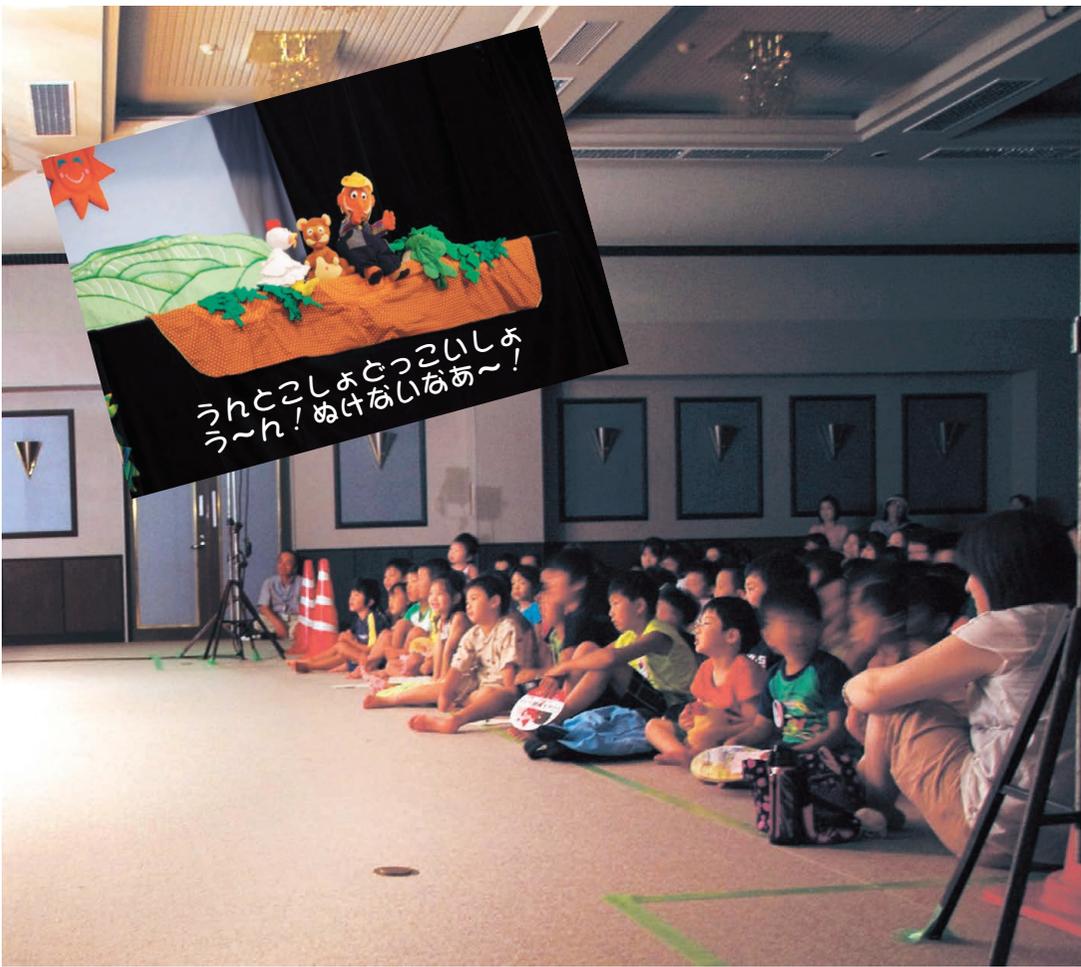
発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

今年のは
テーマは

イマコココダケ!

国内最大級人形劇の祭典 飯田人形劇フェスタ

2012開催



「大きなだいこん」(松尾公民館ホール)

8月2日から5日にかけて飯田人形劇フェスタが開かれた。今年も幅広いジャンルの人形劇団がプロ、アマ問わず、国内はもとより

市政懇談会

「渋滞改善が進まない」という声も!

7月10日午後7時から松尾公民館ホールで、まちづくり委員会と飯田市との共同開催で市政懇談会が開催された。市側からは牧野市長も含め6人、松尾地区から

は住民129人が参加した。まず市政経営の方向について資料に基づき、市長が説明を行った。続いて地域課題について提案及びフリートークが行われた。広域道路開発計画と見直しについての質問に、市側は「飯田東インターや三遠南信自動車道から車が流れてくると思われ、国道151号・256号はさらに渋滞が予測



市政懇談会の様子

海外からも訪れ、飯田人形劇場、公民館、創造館、幼稚園、区民会館など120カ所の会場で約400の公演が上演された。今年のテーマは、「今ここだけでしかない公演」で、即興劇や影絵など多彩な演出で各会場ともにぎわった。松尾公民館でも3日の夜300人もの観客が集まった。

腹話術や操り人形も

8月4日開催会場のひとつ、毛賀区民会館では、滋賀県長浜市から来た日本腹話術協会会員で代表岩田竹善さん他女性2人のグループ「たけとり座」の公演があり、子供たちを中心に1



たけとり座

00人余りの観客が集まった。演目は腹話術や操り人形、マジックショーなど。人形

が座長というユニークな設定もあり、子供に話しかけたり一緒に歌ったりと笑顔あふれる公演だった。

ふれあいひろば



ここは落ちつくねえ(探勝会)

▼分館対抗二ニュースポーツ大会
6月24日、松尾小、松尾公民館にて開催。総合優勝は寺所。準優勝は上溝。ペタンク優勝は清水。ふらばるるバレー優勝は新井、明。囲碁ボール優勝は上溝、寺所。

▼親子映画鑑賞会
7月7日、松尾公民館で文化委員会主催のアニメ映画「豆富小僧」が上映され、278人もの参加があった。

館長つらみ

公民館には今年も涼やかな音色を奏でる鈴虫がいます。この鈴虫の餌は心優しい農家の方から毎日届く、ナスやキュウリなどの新鮮な野菜。また、松村養鯉場からのご厚意による池の鯉は、国会議員さんたちのように仲間割れをしないで、仲良くみんなで元気に泳いでおり、親子連れの皆さんが池を覗いては癒されている姿を目にします。

先日、公民館行事の探勝会で、飯山の高橋まゆみ人形館・中山晋平記念館を訪ね、参加者のみんなが心の癒し

人の優しさ、松尾にあふれる

を感じてきました。他にも、公民館主催の親子映画鑑賞会「豆富小僧」、天竜川ラフティング、まけるな農園夏の収穫祭などが行われました。いずれも親子の温かいふれあいと癒しを感じました。絆を大切にする公民館行事は今後も続きます。どうぞ楽しみに。

◆◆◆◆◆
秋ですので：川柳をひとつ運動会

おわればすぐに文化祭

(奔走する館長)

松風

私たちが住んでいる松尾には、たくさんの川がある。普段何気なく通っている道路の脇にも川

があり、たくさんの水が流れている。そこにはいろいろな生き物が生息している。フナやドジョウ、天竜川でしか見ることができなかったヨシノボリなどの魚類が見られる。水の少ない浅い川でも、サワガニ、カエルやカワニナなどを見ることが出来る。更に川底の砂をすくってみるとシジミが出てくる。▼長年松尾に住んでいる人でもシジミがいることを知らない人が多い。味噌汁などに入れるのは「ヤマトシジミ」といい養殖がほとんどだが松尾のシジミは「マシジミ」といって野生のシジミである。▼下水道が整備されて川へ生活雑排水が流れ込まなくなった影響もあって水が澄み、ひと昔前よりもきれいな川になった証拠である。しかし、その一方で道路の整備が進み、その川も道路の下へ埋め込まれるといったことも……▼交通の便を良くしようという考えも大切だが、自然を守ることを忘れてはいないだろうか。自然の宝庫の松尾である。雨の夜の運転はカニやカエルにも気を付けて走行したい。

松尾の人口

男子 6,107人
女子 6,881人
計 12,988人
世帯数 4,760世帯
8月末現在

松尾を支えるマンパワー 12地区のホープとお宝を一挙掲載

分館 自慢 おらほうの宝だほー

タイトル字・角田公民館長

凡例
 ①世帯数・人口
 (4月1日現在)
 ②地区の自慢
 ③分館長より区民の皆さんへ

※分館ロゴは、運動会のゼッケンを掲載している地区もあります。

久井区



① 178世帯
448人



② 少子高齢化が著しい久井区ですが、秋の例大祭には区民総出で神輿に参加し、大人神輿子供神輿の2基が元気に地区内を巡ります。



③ 公民館活動は、本館、分館の主催があり、また文化・体育・広報各部により多くの事業を行っています。より多くの区民の皆様に参加していただき、ご理解ご協力していただけますよう、宜しくお願いいたします。

中山 収 分館長

上溝区



① 333世帯
925人



② 天神社(天神様)は上溝天神塚古墳の上であり天満宮と薬師堂が祀られ、上溝集会所が隣接した区民の活動拠点です。



③ 老若男女が一人でも多く参加され、楽しくて健康づくりにも役立つ活動が目標で、行事の度に仲間が増え笑顔が増えたら最高だと思います。皆様には温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

小木曾貴幸 分館長

新井区



① 391世帯
1,045人



② 若い力が集結した松流連。毎年“りんごん”で、すばらしい、よさこい踊りを披露しています。アルミ缶集めで資金を集めながら有志で活動しています。



③ 現在新井区には31の各種団体があり、それぞれ独自で活動されています。私ども分館役員は、公民館行事、分館行事に保育園児からお年寄りまで大勢の方々に参加して頂き「いきいき新井」を皆で盛り上げていくよう日々頑張っています。

松長邦博 分館長

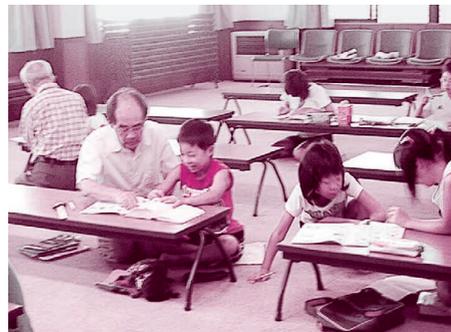
水城区



① 291世帯
868人



② 小学生の夏休み早朝寺子屋が10年続いています。元教員の方々のご指導の元、課題帳などに取り組んでいます。区民のつながりを感じます。



③ 区民の皆様には感謝感謝です。昨年4月の就任以来、幾つかの分館活動を行って参りましたが、それぞれにご協力頂き無事終了することができたのも、貴重な時間を割いて役割に徹していただいたおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。

丸井勝久 分館長

明区



① 478世帯
1,518人



② 一大行事が、毎年8月15日に開催する納涼夏祭りです。多数の区民が参加して盛大に行われ、世代を超えた交流の場となっています。



③ 明区では、多くの区民が参加できる行事を計画しています。それぞれの行事に多くの皆様に参加をいただき交流と親睦を図り区民のまとまりをより強くし、地域が活性化し、よりよい明区になるよう、ご協力をお願いします。

田中孝寿 分館長

寺所区



① 211世帯
641人



② 「おじいちゃ、獅子が新しくなったに」。時をつなぐ獅子、人と人をつなぐ獅子。区民全員参加の獅子保存会が寺所区の宝です。



③ 「おーい、みんなで楽しくやまいか」。子供たちの心に寺所区で育ったことへの懐かしさが残ってくればありがたいと思います。一人ひとりが持ち味を発揮し、これからも元氣いっぱい寺所分館でいきましょう。

松島 清 分館長

城 区 城

① 476世帯
1,395人



原 修 分館長

②小笠原氏の本家である「松本城」を模した手作りの御神輿です。これは、約25年前に当時の壮年会を中心に作成されました。



③城区は大変仲が良く、住みやすい地区だと思います。行事はいろいろありますが、何といっても夏の「城区サマーフェスティバル」には大勢の住民が参加し、大変盛り上がります。子供から年配の方々皆で楽しんでます。

清 水 区



① 213世帯
675人



吉川年治 分館長

②6月にマレット大会、7月に津島・祇園様、また10月に清水公園でペタンク大会と各行事120～180人の参加者で大盛況。



③清水区も、自宅を新築されて、新しく入区される方が毎年増える状況です。入区された方は一日も早く、区、分館行事に参加いただき、私たちと共に区の一員として、親睦を深めていただければと思います。

代 田 区



① 672世帯
1,585人



田中明生 分館長

②代田区の宝は130年余の伝統芸能で、代田獅子囃子である。獅子の木の口のウラは囃子屋台を引く独特の形をしています。



③日頃、区民の皆様には行事への出席や、お手伝いに参加していただき、心から感謝しております。ありがとうございます。

八 幡 区



① 343世帯
806人



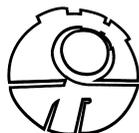
玉置茂樹 分館長

②下伊那の商業交通の要衝としての面影が色濃く残る旧道(秋葉街道)。馬の繋ぎ石やうだつの有る町家が八幡様と一体となった歴史地区です。



③八幡町区も近年大きく変容してきました。商店街の色合いが薄れ区民の高齢化が進行しています。分館もこのような変化に対応した新しい活動を模索すべき時がきているように思われます。区民の皆さんのご支援をお願いします。

常 盤 台 区

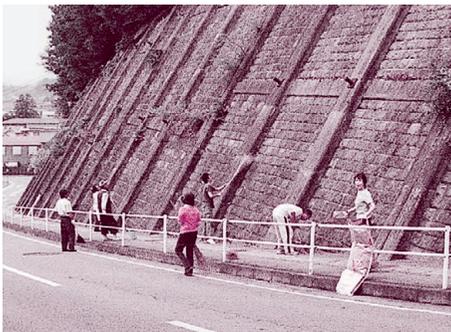


① 354世帯
848人



大谷榮造 分館長

②「子や孫たちの通学路を美しく」。26人の有志による清掃ボランティアの会。当時20～30歳の若い衆が自分の住む区を思い造った100%手造りの常盤台御神輿。



③紹介した2つの宝はいずれも周りから押しつけられたものでなく、どうせこの地に住むのならこの地域がきれい、且つ元気で楽しい方がいい…という思いから…今、目の前にあるゴミを1つ拾うことからできる楽しい地域づくりと仲間づくり。

毛 賀 区



① 634世帯
1,799人



宮下英美 分館長

②毛賀地区は杉の大木に包まれた森厳な場所に地区の守り神である「毛賀諏訪神社」がある。神社は入母屋造銅板葺、祭神は「建御名方命」で左手に鎌を持ち五穀豊穡を願っている。



③毛賀区は松尾地区の一番南で境は竜丘地区です。以前は毛賀村という独立した村であったために、伝承、保存していきたいものが多く残されています。これらを次の世代にどのようにしたら伝えていくことができるか、区民の皆さんと知恵を出しあって考えていきたいと思っています。

松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時

本のリクエストも受け付けています。

【10月】
7日(日) 松尾地区市民運動会
14日(日) 7地区合同女性バレーボール大会
下旬 まけるな農園秋の収穫祭

【11月】
4日(日) 松尾バレーボール連盟後期大会
18日(日) 飯田市女性バレーボール大会
25日(日) オープンふらばるるバレー大会
下旬 まけるな農園親子木工教室

公民館の主な行事予定 (10月・11月)

出張サイエンス大盛況
7月21日から8月26日にかけて地区児童会のお楽しみ会などで、松尾サイエンススタッフによる「出張サイエンス」が行われた。新井区・水城区・代田区・明区に総数280人余りの児童が集まった。
新井区では「色が変わる水」や「ふしぎなひも」などのマジックショーを楽しんだ後「プラカップの七変化」を制作。油性マジックで絵を描いた透明のプラスチックカップをオープンで焼くとみるみる平らに。子供たちからは「ペチャンコになった」と歓声があがった。これに穴を開けてひもを通しビュンビュンごまやペンダントを作って楽しんで

八幡区 講演会 犬塚家で歴史を知る



7月21日、八幡分館の文化講演会が八幡町の旧街道沿い「犬塚家」で開催され、住民約30人が八幡町の歴史について知識を深めた。

前半は、犬塚家の管理保存にあたる市歴史研究所と市民有志でつくる「建築史ワークショップ」により、築200年の犬塚家の解説。町家建築は家々が密集する街道沿いに多く、間口が狭く奥行きが長いのが特徴で、京都が有名である。また明治33年の八幡の大火では、

防火壁「ウダツ」が効力を発揮し類焼から免れた事実など、犬塚家の特徴を紹介した。

続いて元区長の村松甲子夫さんが「八幡旧街道の歴史と街並みの変遷」をテーマに八幡町の歴史について講演。江戸時代の秋葉街道つながりの商業発展を挙げながら「八幡商店街は八幡宮の神前町を中心に栄え、飯田の商店街に負けないくらい栄えていた」と当時の様子を語った。

7月1日、区民が気軽に参加できる行事として、初の清水区遠足が行われた。出発前に分館長の歩数当てクイズが出され、喬木村富田城址公園を目指した。

老若男女が参加できるように企画されたが、当日は小学校のバザーと重なり、また天候も悪く、残念ながら子供の参加はなかった。清水ハイキングの会のメンバーを中心に、6組の夫婦を含む17人の参加となった。

出発して間もなく、水神橋にさしかかると雨は本降り。片道約5km、山の中の緑に囲まれた小道を傘をさし、世間話に花を咲かせながらゆつくり行く。下久堅亀平付近で休憩、山道を進み人家が見えてくるともう目的地。公園入口で記念撮影、東屋で弁当を広げ早い昼食をとった。ジャンケン大会の後帰路につき、往復とも傘を連ねた遠足となった。最後は清水公園で慰労会を行い、分館長の万歩計1万700歩に最も近い歩数を予想した参加者に景品が贈られた。

清水区 初めての遠足 雨の中スタート



傘と笑顔（公園入口にて）

久井区 工場見学 いきいき♪バスツアー



かんてんばば前にて

久井区文化局が主催した「いきいきセミナー」が7月21日に開催された。本年は伊那駒ヶ根市方面の工場見学や周辺散策を内容とするバスツアーで、時折小雨の降る中、園児から年配者まで幅広い年齢層の区民67人が参加した。

養命酒の森では深緑の中の山野草見学、カフェでの飲食や土産選びを楽しみ、マルスウイスキー工場では醸造施設を見学し、各種ワインやウイスキー、地ビールの試飲を堪能した。かんてんばばガーデンでは健康パビリオンで各自健康チェックをした後、ガーデン内の自由行動を楽しんだ。

このセミナーは、元々は講師による健康や趣味に関する知識向上を目的とした講習会であったが、10年程前から日帰り見学旅行となった。例年はバス2台での移動であったが、今年からは大型バス1台となり、道中参加者の会話も大いに弾んでいた。

2012 夏の日のスケッチ

常盤台区 納涼祭 今年の目玉は天ぷら



かき氷はいかが！

常盤台区恒例の納涼祭が7月28日(土)、常盤台集会所にて盛大に催された。

まずは中島策雄区長より挨拶、つづいて列席来賓より今回の納涼祭へのねぎらいの言葉があり、幕が開いた。

催し物は子供太鼓から始まりビンゴゲームまで多彩。中でも「中国舞踊」は、中国帰国者との交流の多い国際色豊かな常盤台区ならではの催し物であった。

午後6時ビンゴゲームの終了と同時に今年の納涼祭の幕が閉じられた。

8月26日、松尾マレットゴルフ場で、夏の恒例行事になった松尾地区分館対抗マレットゴルフ大会が、厳しい暑さの中行われ、各分館から男女4人ずつ選手が参加した。

レベルの高い試合内容の大会で、パー4のホールでは、多くの選手が1打目でホール近くへ打ち、2打目でホールに寄せ、3打目でインするといった見事なゴルフを見せていた。一方ゴルフ場を熟知したベテラン選手が、緊張感のためか手元が狂いカップをはずす場面も見られ、読みの難しさを物語っていた。また、大勢の目の前でホールインワンの快挙が見られるなど、思いがけない感動に参加者が沸き、大会は大いに盛り上がった。

競技終了後、団体戦成績発表・表彰式が行われた。「次回も各地区の活躍を期待します」と角田公民館長のあいさつがあり、大会は締めくくられた。

総合優勝は練習の成果を発揮した久井区、2位水城区、3位毛賀区、男子の部優勝は久井区、女子の部優勝は水城区。

マレットゴルフ大会 熱い戦いに燃えた夏



総合優勝の久井区

広報委員が行く ラフティング体験記



7月14日、午後1時に弁天の乗船場に着くと、すでに親子連れが集まっていた。ラフティング参加者は総勢22人。前日までの降雨で水量が増加し、うねる波頭に、一同わくわくと不安が交錯した表情だ。ライフジャケットを着用し、注意点と実技の説明を受け、ボートに乗船。「さあ、出発だ！」

ゴムボート3艘は、本流に乗り追いつ追われつ。急流に入ると激しくボートが上下し、あちこちから歓声がある。

いくつもの難所を過ぎ、流れがゆったりと穏やかになると、その中瀬でプカプカ浮かぶ子供たち。「子供に独占させるものか」と、私も挑戦してみた。仰向けで青空を見つめる。童心回復、至極の時間(写真)。

ワザとボートを横倒しにしての遭難訓練では、必死にロープを握るスリルも味わい、参加者は「冒険心を刺激されて楽しかった」と。私も大満足の体験だった。(広報委員・森本記)

※ラフティング体験教室…総務企画委員会主催